サークル各位様　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成 23 年 9 月 11 日

早稲田大学英語会(W.E.S.S)

第38回 大隈重信杯争奪全日本学生英語弁論大会インビテーション

Invitation For The 38th All Japan Intercollegiate English Oratorical Contest For The Okuma Trophy

拝啓

初秋の候、貴大学の皆様におかれましてはますます御清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。さて、このたびは早稲田大学英語会（以下、本会）が今年度主催する大隈重信杯争奪全日本学生英語弁論大会（以下、大隈杯）の詳細をお知らせいたします。多くの皆様の大隈杯へのご参加を本会一同、心よりお待ちしております。つきましては、以下の情報に目を通していただければ幸いです。

□　大会名称

第 38 回大隈重信杯争奪全日本学生英語弁論大会
The 38th All Japan Intercollegiate English Oratorical Contest For The Okuma Trophy

□　日時

2011 年 12 月 17 日（土）

□　場所

早稲田大学　早稲田キャンパス　大隈記念講堂　大講堂

東京メトロ東西線 早稲田駅より徒歩７分
JR 山手線・西武新宿線 高田馬場駅より徒歩２０分、バス８分
都電荒川線　早稲田駅より徒歩５分

□　大会コンセプト

MOVE

~FINALE for your another OPENING~

本年度で第 38 回目になる大隈杯のコンセプトに、私たちは MOVE という単語を選びました。Speech は言葉で成り立っています。私たちはこの世界で何万、何億という言葉に囲まれて生きています。そして、言葉は時に人を傷つけ、時に人を励まします。言葉によって作られる Speech には、人を“動かす”だけの力がある、と私たちは考えています。

1 年も終わりに近付く頃、選ばれた 10 個の Speech が誰かを感動させ、誰かの人生を動かす。この大隈杯という機会が、関わる全ての方々にとって、より輝かしい未来に向かって歩むための一つの分岐点となることを、そして深い感動を味わっていただける場になることを願っております。

皆様の Speech が世界を動かすことのお手伝いをさせていただくべく、微力ではありますが本会会員全員で運営させていただきます。皆様のご応募を心よりお待ちしております。

□ 本選レギュレーション

Ⅰ.Prepared Speech(7 分間)

予め各自が用意した Speech を発表。Main Claim は予選と同じとします。

※Speech 時間が 7 分を超えた場合、7 分 30 秒までは減点などの罰則はありません。しかし、7 分 30 秒を超えた場合、順位を 1 ランク降格させていただきます。また、8 分 00 秒の時点で Speech が終了していない場合は、Speech を打ち切らせていただき、かつ順位を 2 ランク降格させていただきます。

〈Main Claim〉: Speech をシンプルにまとめたもの。かつ、自分の主張の中心となるもの。

Ⅱ.Questions and Answers(4 分間)

Questioner による Prepared Speech に関する質疑応答。

4 分以内に質問されたものに対しては、4 分を過ぎてもお答えいただけます。

□ 予選(Elimination)について

・出場資格は、英語を母国語としない日本全国の大学 ESS 所属の方です。海外経験の有無は問いません。
・各団体 3 名まで応募可能です。ただし、本選出場は各団体上位 2 名までとさせていただきます。
・Elimination への原稿応募締め切りは 10 月 7 日(金)必着です。
・本選 Speaker の人数は 10 名です。内 1~2 名は本会(WESS)から選出させていただきます。
・Elimination を通過した方々には本選に出場していただきます。通過された方々には、11 月 7 日(月)～11 月 11 日(金)の間に宇佐美(Speaker Assistant)からお電話または E-mail で御連絡させていただきます。
・Elimination 通過後のリライトは可能ですが、Main Claim と Title の変更は禁止させていただきます。リライトの締め切りは追って御連絡させていただきます。
・既発表(ただし 2011 年に限る)の Speech での応募が可能です。

□ 応募要項

予選として Prepared Speech の原稿と CD による審査を行います。以下の①~④の 4 点を、後に記した郵送先まで、お手数ですが郵送していただくようお願いいたします。また、⑤を下記のアドレスまでお送りいただきますようよろしくお願いします。

① 原稿 3 部

・A4 用紙に、Century で 10.5pt、ダブルスペース(行間 2.0)、両端揃えでタイプしたもの。

・タイトルは 12pt で、ヘッダーに、中央揃えでタイプしてください。本文の前にはタイトルのみをタイプして、氏名・大学名などは記載しないでください。

・原稿が複数枚に及ぶ場合は、原稿の左上でホチキス留めしてください。

・余白の指定はありません。

＊ なお、原稿提出後の Main Claim の変更は一切受け付けられませんのでご注意ください。

② Speech を録音した CD 3 枚

必ず本人の声でタイトル、本文のみを英語で録音してください。CD 本体とケースには氏名、タイトルのみを記入してください。Speech 時間に関しては、本選と同様に 7 分の Prepared Speech を録音してください。Speech 時間には、タイトルを読み上げている時間は入りません。Speech 時間が 7 分を超えた場合、7 分 30 秒までは減点などの罰則はありません。しかし、7 分 30 秒を超えた場合は審査の対象外となりますのでご注意ください。

＊音源データはボイスレコーダー等で作成し、ファイルを CD に書きこんでください。また、ファイ

ル形式（拡張子）は、MP3、WAV、WMA に限ります。音源データの作成方法、CD への書き込み方法等の詳細につきましては、4 ページ目以降の「Windows PC を使った音声データの作成、保存の方法」をご覧ください。なお、掲載いたしました「音声データの作成、保存の方法」は、第 25 回 East Japan 学生英語弁論大会インビテーションより抜粋させていただきました。

③ **パンフレット掲載用写真**

縦 4cm×横 3cm の写真を 1 枚同封してください。カラー・白黒は問いません。スーツ着用、笑顔でお願いします。裏面に氏名と大学名の記入をよろしくお願いします。

④ **申し込み用紙（別紙）**

記入漏れのないようにお願いします。なお、用紙には Speech の要約の欄がございますが、この要約は予選のジャッジには公表せず、従って点数には含まれないことを、予めお知らせいたします。

⑤ **Microsoft Word で作成した Speech 原稿の文章データ、音声データ**

お送りいただいた原稿および CD の予備といたしまして原稿データ、音声データを okumatrophy2011@gmail.com までお送りいただきますよう、よろしくお願いします。

□ 予選書類郵送先

〒161-0035
東京都新宿区中井 1-13-5
ワコーレ中井　104 号
西本　卓史(大隈杯実行委員長)

□第 38 回大隈杯 twitter アカウント

okuma_trophy2011
情報等、twitter にも載せていきたいと思いますので、よろしければご確認ください。

□ お問い合わせ先

第 38 回大隈杯　Contest Manager　西本卓史（政治経済学部 3 年）

E-Mail：(Cell Phone)　freedom-and-peace@i.softbank.jp
(PC)　nishimo1015@gmail.com
TEL　080-3009-0536

第 38 回大隈杯　Speaker's　Assistant　宇佐美里沙（政治経済学部 3 年）

E-Mail：(Cell Phone)　nomen_meum_est_risa.usa.0-0@docomo.ne.jp
(PC)　pooh3-honey@toki.waseda.jp
TEL　090-4544-5010

何かご不明な点・ご質問等がございましたら、上記連絡先までお気軽に御連絡ください。

【参　考】応募者の皆様へ

Windows PC を使った音声データの作成、保存の方法

今回は、応募者の皆様に、従来のカセットテープではなく、デジタル形式のデータで音声をご提出頂くことになりました。以下に、特別な機材を使わず、Windows 搭載の PC で音声データを作成、保存して頂く方法をご説明しますので、参考になさって下さい。**なお、個別のパソコンにより操作方法や外観が若干異なるケースがありますが(ソフトウェア構成等が異なるため)、個別のサポートは致しかねます。**取扱説明書等をご参照のうえ、ご自身の責任で操作を行って下さい。

● はじめる前に

用意して頂くもの

- Windows 搭載の PC（ただし、ディスクドライブが CD-R 保存に対応していること。）
- マイク（PC に接続し Skype 等に使用するマイク。量販店で安価で購入できます。）
- 空の CD-R （家電量販店のほか、コンビニ等で購入出来ます。650MB でも 700MB でも可。）

● 手順１：PC の準備

ここでは Windows Vista を例に説明しますが、XP でも手順はほぼ同じです。

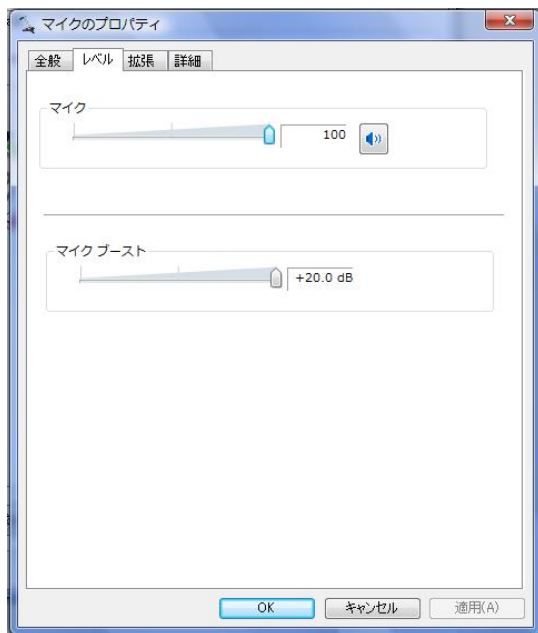
１．PC のマイク端子にマイクを接続し、画面右下のボタンを右クリックします。

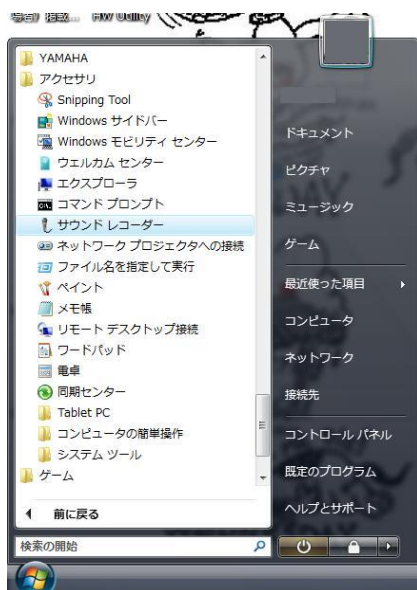
２．

上のようなメニューが現われますので、「録音デバイス」をクリックします。

３．

「サウンド」というウィンドウが現われますので、「マイク」を右クリック、メニューから「プロパティ」をクリックします。

４.

「マイクのプロパティ」というウィンドウが現われますので、「レベル」タブを選択、上部「マイク」の音量メモリが０になっていないこと（値が小さすぎると録音が成功しないので、50 以上を推奨)、右隣の ボタンに赤い印が付いていないことを確認し、「OK」をクリックして下さい。３．で出現した「サウンド」ウィンドウも閉じて下さい。

● 手順２：録音

１．Windows ボタンから「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「サウンドレコーダー」と順にクリックして下さい。(上図参照。)

「サウンドレコーダー」が起動します(上図参照。) もう一度、マイクがマイク端子に正しく挿入されていることを確認し、「録音の開始」ボタンをクリック、すぐにスピーチの吹き込みを開始し、指定された時間内に録音してください。

【Windows XP 以前の OS を使用する方へ。】

Windows XP 以前のバージョンに搭載されているサウンドレコーダーは、初期設定では 60 秒までしか録音が出来なくなっています。以下のウェブサイトにアクセスし、記載されている方法で十分な録音可能時間を確保してから、Speech の吹き込みを行って下さい。

参考 URL: http://search.vaio.sony.co.jp/solution/S0004120002674/

２．録音の停止

決められた時間の範囲内で吹き込みを終了し、「録音の停止」をクリックします。

自動的にファイル保存の画面が現われますので（XP 以前は手動）、PC 内の任意のフォルダに指定されたファイル名で保存してください。

（ファイルの拡張子は、XP 以前が WAV、Vista 以降が WMA となっています。）

保存した音声ファイルは、必ず提出前に再生して、正しく録音されていることを確認してください。
音声ファイルのエラー（中身が無音である、途中で切れている、等）について、
提出後に実行委員によるフォローは致しかねますので、ご注意下さい。

※再生時に音割れを起こす場合

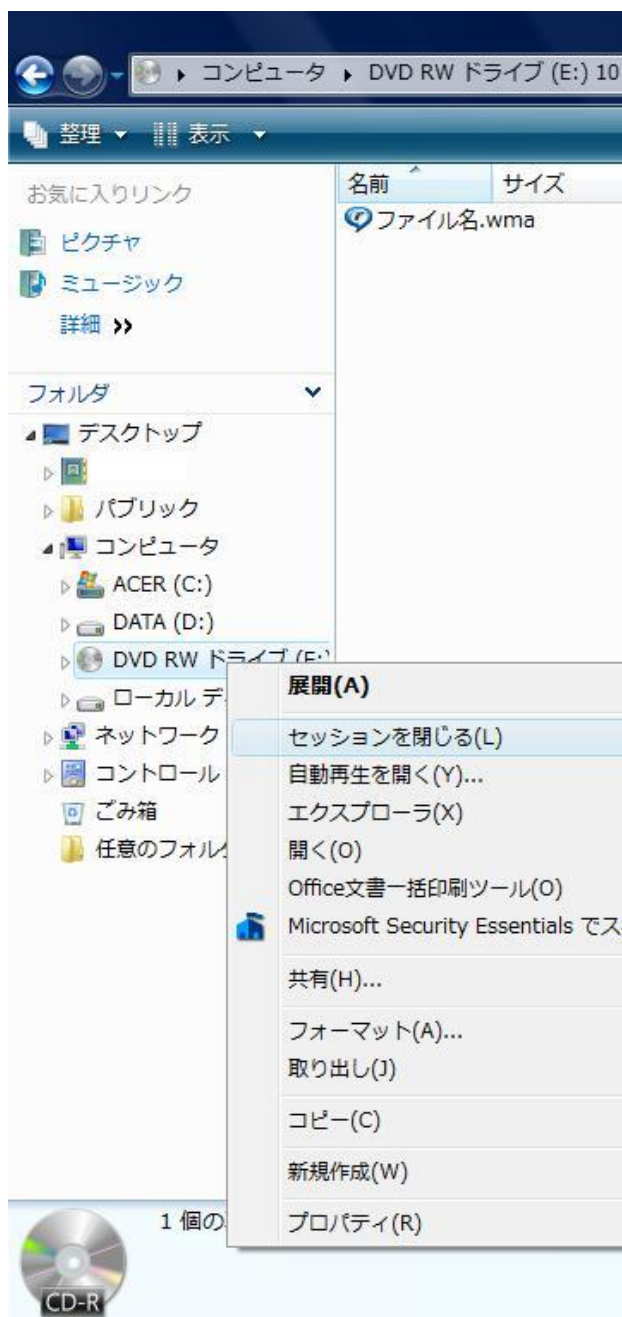
→　解決策：１．マイクからもう少し口を遠ざけて録音しなおす。
　　　　　　２．マイク音量（手順１の 4）を少し下げて録音しなおす。

※再生時にスピーカー音量を上げても音が小さすぎる場合

→　解決策：１．マイクにもう少し口を近づけて録音しなおす。
　　　　　　２．マイク音量（手順１の 4）を少し上げて録音しなおす。

●　手順３：CD-R に保存

※　単純にデータとして保存して頂ければ、デッキ等で再生出来るオーディオ CD にして頂かなくて構いませんので、ご安心下さい。

1．　ディスクドライブに、空の CD-R を挿入して下さい。
2．　ディスクタイトルを指定するウィンドウが現われますが、変更せずに進んで構いません。自動でディスクが初期化されるのをお待ち下さい。Windows ボタンから「コンピュータ」を開き、CD ドライブを開きます。任意のフォルダから、CD ドライブのウィンドウにファイルをドラッグ・アンド・ドロップして来て下さい。
3．　ウィンドウの左下「フォルダ」ビューから CD ドライブを選択して右クリック、メニューから「セッションを閉じる」をクリックして下さい。データがディスクに焼かれ、他の PC でも再生出来るようになります（次ページの図参照。）
4．　取り出したディスクは、インビテーションの指示に従って、応募書類とともに期日までにお送り下さい。

＜最後に＞

ここでご説明したソフトウェア、方法を使用せずとも、ご自分で普段使用されている機器等があれば、ご自由にお使い頂いて構いません。しかし、その後の作業の都合上、

音声データの形式は WAV/WMA/MP3 の 3 種類のみ許可し、その他は一切認めません。

(携帯電話の IC レコーダー機能はファイル形式が異なるのでご注意ください。)

応募者の皆様には、お手数をおかけし大変恐縮に存じますが、円滑な運営にご協力頂きたく、何卒よろしくお願いいたします。

文責；2011 年度関東学生英語会連盟